

オープンダイアログと新生ケロプダス病院 <SK グループ企画> 2026 フィンランド精神医療「開かれた対話」視察

日次	月日 (曜)	都 市 名	発着	交通機関	時刻	日 程	宿泊・食事 (朝・昼・夕)
1	2/1 (日)	羽 田 空 港	発	国際線	21:55		機 内 泊 (一 機)
2	2/2 (月)	ヘルシンキ ヘルシンキ オ ウ ル ケ ミ	着 発 着 着	” 国内線 専用車 ”	04:00 07:30 08:40 11:00	ホテルチェックイン。 「ユニバーサルデザイン研修調査」 (地区診断・該当地域周辺の精神障害者からの目線) 公共交通を使って観察。	ケ ミ 市 (機 一 機)
3	2/3 (火)	ケ ミ 市		徒 歩	08:30 15:00	ケロプダス病院で視察研修 (通訳同行) 「オープンダイアログ研修」	ケ ミ 市 (機 一 機)
4	2/4 (水)	ケ ミ 市		徒 歩	08:30 15:00	ケロプダス病院で視察研修 (通訳同行) 「オープンダイアログ研修」	ケ ミ 市 (機 一 機)
5	2/5 (木)	ケ ミ 市		徒 歩	08:30 11:30 午 後	ケロプダス病院で視察研修 (通訳同行) 「オープンダイアログ研修」 研修のまとめ 「新生ケロプダス病院」視察	ケ ミ 市 (機 一 機)
6	2/6 (金)	ケ ミ 市 オ ウ ル ヘルシンキ ヘルシンキ	発 発 着 発	専用車 国内線 ” 国際線	10:30 14:25 15:25 17:55		機 内 泊 (機 一 機)
7	2/7 (土)	羽 田 空 港	着	”	14:25		(一 機 一)

※施設の急な事情により、やむを得ず視察先が変更になったり、順路が変わることもありますので予めご了承願います。



トルニオから新築移転したケロプダス病院
(西ラップランド地方)

【企画要項】

- 概算予定代金:
お問合せ下さい
- 別途: 保険、燃油空港諸税 手続き費
- 最低催行人員: 7 名様以上
- お食事: 朝 4, 昼 0, 夕 0 回
- ホテル: 3~4 ツインホテル
(ツイン 1 室 2 名・同室)
- 一人部屋追加代金: 75,000 円
- 申込締切日: 10/4 (土)
★定員 12 名になり次第締め切ります
- 参加人数が 7 名に満たなかった場合は中止となるか、料金値上げのご相談の上、催行を予定しています。
- この旅行条件は 2024 年 6 月 30 日を基準日として、現行航空運賃にて算出しております。

■申込・問合せは下記サイトより
<http://atlasstudytours.com/cn17/pg1139.html>



ひとくちメモ

- ◆2月の最高気温-7℃、最低気温-14℃
- ◆人口: ケミ市域 2.2 万人
フィンランド 532 万人
- ◆高齢化率と合計特殊出生率:
フィンランド: 23.27% 1.46 人
日 本 : 29.92% 1.30 人
- ◆時差: -7 時間 (日本より遅れている)
- ◆通貨: ユーロ (EUR) = 170.58 円 (5/30)
- ◆電圧: 240V、C 型プラグ (丸 2 ピン)
- ◆査証: 不 要 (90 日以内の観光に限り)
- ◆パスポート残存有効期間:
: 出国時 3 ヶ月以上が望ましい。

「対話の可能性を私たちはどう感じるか」やさしいフィンランドの精神医療に学ぶ」

1980 年代はじめに、フィンランドの西ラップランド地方、トルニオ市にあるケロプダス病院で生まれた精神治療技法の「オープンダイアログ」は、言葉こそが、現実を構成するという社会構成主義的な信念があり、言葉の回復が重要なカギを成すと言われていました。この手法がいま、国際的な注目を集めているのは、急性期の統合失調症患者に対する治療的介入として、ほとんど薬物治療や入院治療を行わずに、非常に良好な治療成績を上げてきた実績があるためです。また、現在では、うつ病やひきこもり、摂食障害や依存症など、さまざまな領域において応用が広がっています。地元ユバスキュラ大学のヤーコ・セイックラ教授は、このオープンダイアログに関連した研究成果の中で、オープンダイアログは技術や治療ではなく、「哲学」や「考え方」であることを強調しました。精神科医療の現場に限定せず、教育、福祉、一般の企業の中でも、このオープンダイアログによる「関係性の修復的対話」が取り入れられ、地域社会の中にも「対話の場」が一層増えてきています。精神疾患を抱える人の在宅生活を支えるオープンダイアログの実践現場を視察し、関わる専門職の支援の精神的・文化的基盤や、地域住民にオープンダイアログの文化がどのように浸透しているのか、そしてまた、その実践の効果をj知ることによって、日本の文化基盤にどう適応したオープンダイアログを普及、発展させる可能性があるのかを考える機会として、この視察研修を企画いたしました。



チーム医療の専門家スタッフ、精神科医師、精神科看護師、臨床心理士、経験者エキスパート(ピアサポーター)、理学・作業療法士、リハビリ指導士、ソーシャルワーカーなど総勢 10 名ほどで行われます。研修内容は、自己紹介の後、精神医療の生い立ち、スタッフ紹介、ケーススタディの話が治療ビデオを通してあり、それ以降は、医療チームスタッフと参加者が、それぞれ意見交換をしながら対話を重ねてすすめていき、最後に、オープンダイアログが大事にしている一つのポリシーにたどり着き、説明するといった形を毎回とっています。

視察企画について

この視察企画のご案内は、過去の視察実績をもとに、モデル日程に沿って手配する旅行です。従いまして、現時点で視察先が確定されたものではありません。また直前に、急患・担当者の交代・組織の変更など視察先の事情により訪問できなくなる場合があります。その際は、出来る限り代替の訪問先をご提案させていただきます。なお、暫定日程はご出発の 21 日前までに通知予定ですが、途中、変更点などありましたら、随時ご案内させていただきますので、予めご了承願います。

◆研修企画・取扱い旅行社◆

金沢クリエイティブ・グループ

ATLAS

株式会社アトラス旅行

〒921-8161 金沢市有松 5-10-24 プラミスビル 3F
TEL: 076-259-6133 FAX: 076-259-6194
Email: welcome@atlastours.co.jp
企画担当: 木村幸生 手続き担当: 島野佳子・村村明日香